

令和3年度 和歌山県認知症キャラバン・メイト養成研修開催要項

1 目的

地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」をつくる「認知症サポーター養成講座」の講師役「キャラバン・メイト」を養成する。

2 実施主体 和歌山県、全国キャラバン・メイト連絡協議会

3 受講対象者

次のいずれかの要件を満たす者で、年間10回程度を目安に（最低実施数3回）、「認知症サポーター養成講座」を原則としてボランティアの立場で行える者

- (1) 認知症介護指導者養成研修修了者
- (2) 認知症介護実践リーダー研修（認知症介護実務者研修専門課程）修了者
- (3) 介護相談員
- (4) 認知症の人を対象とする家族の会
- (5) 上記に準ずる者

- | | |
|---------------------------------------|------------------|
| 5-1 行政職員（保健師、一般職等） | 5-2 地域包括支援センター職員 |
| 5-3 介護従事者（ケアマネジャー、施設職員、在宅介護支援センター職員等） | |
| 5-4 医療従事者（医師、看護師等） | 5-5 民生児童委員 |
| 5-6 その他（ボランティア等） | |

4 研修日程及び定員

【紀南会場】

日時 令和3年11月25日(木) 10時00分～17時00分(9時30分受付開始)

場所 和歌山県立情報交流センターBig・U 研修室1
(和歌山県田辺市新庄町3353-9)

定員 30名程度

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から例年より定員数を減らして実施することとします。

【紀北会場】

日時 令和3年12月13日(月) 10時00分～17時00分(9時30分受付開始)

場所 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 4F ホール
(和歌山県和歌山市北出島1-4-57)

定員 80名程度

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から例年より定員数を減らして実施することとします。

5 研修内容及び時間 別紙カリキュラム参照

6 受講費用 無料（参加のための交通費・宿泊費等は本人負担とする）

7 申込方法

別添「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、「13 受講申込・問い合わせ先」までに、メール又はFAXにて提出してください。

※受講申込書に受講希望の日程をご記入ください。

同一事業所内で複数名申し込まれる場合は、事業所内の受講優先順位を記入ください。

(定員超過となった場合、優先順位が高い方から受講決定させていただきます。)

8 提出期限 令和3年10月29日(金)17時00分まで
提出期限前であっても、受講希望者が定員に達した時点で申込受付を終了しますので、あらかじめ御了承ください。

9 受講決定

受講決定通知を、受講申込者全員に令和3年11月18日(木)までにメールやFAX等で通知します。通知書が届かない場合はご連絡ください。

受講者情報について、受講者決定後に申込書に記載のある市町村事務局にも情報提供させていただきますので、あらかじめ御了承ください。

10 キャラバン・メイト登録について

「認知症サポーター養成講座」を継続的に年間最低3回実施する者をキャラバン・メイトとし、全国キャラバン・メイト連絡協議会に和歌山県を通じて登録されます。

登録者の情報は、「認知症サポーター養成講座」の実施を目的として、各市町村事務局に提供されます。

11 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

研修実施に関して、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から次のとおり対応します。

- (1) 研修当日の受講前には必ず検温を行い、体調について別紙健康等チェックシートで報告してください。なお、体調が悪い場合等（健康等チェックシートの確認事項に1つでも該当する場合）は受講を控えていただきます。
- (2) マスクを必ず着用してください。
- (3) 研修会場では入口付近に手指消毒用アルコール等の消毒設備の配置をしますので、こまめに手洗い、消毒を行ってください。
- (4) 研修会場では2つの窓を開ける等、換気を行います。

12 個人情報の取り扱いについて

「受講申込書」及び「健康等チェックシート」に記載された個人情報については、県及び各市町村事務局において本来の目的や感染症拡大防止対策のための目的以外に使用せず、適正に取り扱います。

13 受講申込・問い合わせ先

認知症サポーターキャラバン和歌山県事務局

(和歌山県 長寿社会課 長寿社会班) 担当 川原、嶋崎

住 所： 〒640-8585和歌山市小松原通1-1

TEL： 073-441-2521

FAX： 073-441-2523

E-mail： shimazaki_m0001@pref.wakayama.lg.jp

令和3年度 和歌山県認知症キャラバン・メイト養成研修 カリキュラム

内容	目的	時間	担当講師
I オリエンテーション * あいさつ * 受講にあたって * 研修内容、すすめ方 * キャンペーン・ビデオ上映(15分) * 認知症サポーター100万人キャラバンの取組について	①キャラバン、事業展開の趣旨を理解する。 ②自治体としての事業の位置づけの理解徹底。	10:00～ 10:20 (20分)	和歌山県
II 認知症サポーターに伝えたいこと ○認知症を理解する 認知症とはどういうものか 認知症の症状 中核症状 行動・心理症状とその支援 認知症の診断・治療 認知症予防についての考え方 認知症の人と接するときの心がまえ 認知症介護をしている人の気持ちを理解する	①認知症サポーター養成講座でサポーターに伝える内容について学習する。 ②認知症とはどういう病気なのか、認知症の人や介護をしている人をどう支援したらよいかを理解する。	10:20～ 12:20 (120分)	認知症介護指導者 長森 秀尊
昼休憩(12:20～13:20)			
III 認知症サポーター養成講座の運営方法 1 サポーター講座の講義内容例 サポーター講座の内容のポイントを確認しよう	標準教材に準拠した標準的講座用スライドの活用法を説明。 ※スライドは協議会より提供のものを使用	13:20～ 13:50 (30分)	和歌山県
2 キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際 ○各地のサポーター講座の様子(適宜) ○サポーターの活動事例	全国各地の講座の様態をスライドで紹介。 (住民、職域、学校) チームオレンジの概要紹介	13:50～ 14:05 (15分)	和歌山県
○サポーター養成講座の企画・運営のポイント グループワーク① 講座の展開に協力してもらえそうな機関等はどこだろう …講座の開催先を考える	①認知症の人を地域で支える視点。 ②認知症の人の助けになる地域の社会資源やネットワークを確認する。 ③キャラバン・メイトの役割の理解とサポーター養成講座の対象者を検討。 ④サポーター養成講座を展開するうえで協力してもらう機関の洗い出し。 ⑤グループワーク②③の中で、認知症サポーターとしてできること(第2章該当)を押さえる。	14:15～ 16:45 (150分)	認知症介護指導者 田端 恵美
グループワーク② 受講者に合わせたカリキュラムをつくってみよう	①サポーター養成講座の運営方法を確認する。 ②サポーター養成講座の企画や講座のポイントについて理解する。 ③サポーター養成講座受講対象者別カリキュラムの作成。		
IV 事務連絡 キャラバン・メイト登録について アンケート回収 修了証 授与		16:45～ 17:00 (15分)	和歌山県

※休憩時間を適宜はさむ

計 350分 (5時間50分)